

伝え合い 学び合う 佐古の子

さくらだより



【本年度の重点目標】
学校生活の基盤を整える

令和5年9月4日 No.29 校長だより

真剣に取り組んだ シェイクアウト訓練

■9月1日、シェイクアウト訓練を行いました。やり方は、各自で安全確保行動3つを1分間行うというものです。

- ①「DROP!(まず低く!)」
- ②「COVER!(頭を守り!)」
- ③「HOLD ON!(動かない!)」

■「日本シェイクアウト提唱会議」HPに目的が次のように書かれています。地震による被害は、地震の揺れそのものよりも、揺れによって生じた家屋の倒壊、家具の転倒・落下・移動、落下物への接触などによるものが多いとなっています。また、地震でケガをした人は、地震発生時に移動した家具等によりケガを

している人が多いです。シェイクアウトで、DROP!(まず低く!）、COVER!(頭を守り!）、HOLD ON! (動かない!)が最重視されているのは、地震による被害を最小限に抑えるために、地震発生直後は「姿勢を低くして、頭を守り、動かない」ことが大切だと考えられています。



子どもたちが学校の様子を発信！
高知新聞への掲載が続いています。

みんなでのんだよ
★香南市・佐古小★
楽しみにしていた、お茶の入れ方の学習です。わくわくしながら家庭科室へ向かいました。私の家でのむお茶は緑茶です。お父さんは、水出しの緑茶、お母さんは粉末の緑茶、私はお湯で入れた緑茶です。でも私は麦茶の方が好きです。家庭科の授業では何のお茶を入れるのか、楽しみでした。先

生がお茶の葉を持ってきました。緑茶でした。

まず、やかんに水を入れて、お湯をわかしました。茶こしの中にお茶の葉を入れて、お湯をゆつくりきゆうすにそそぎました。それから、ゆのみにお茶を入れて、おかしといっしょにのみました。

みんなでいっしょにのむお茶はとてもおいしかったです。

(5年、武藤羽叶記者)

八月二十九日の高知新聞に掲載されました。

■シェイクアウト訓練は、「その時にいる場所」で地震が発生したことを想定して行います。今年は1時40分に行いました。この時間は、縦割り班掃除が終わって後片付けをしたり教室へ移動したりしている時間帯です。場所によっては先生がいないこともあります。一人一人が真剣に取り組むことが大切です。

■上の写真は、掃除から教室へ帰る途中の子どもです。一人で移動中でしたが、素晴らしい行動ができていました。状況に合わせた訓練を繰り返し行っていくことで、子どもたち自身が、とっさの判断ができるようになっていくのだと思います。自分の命を守れる力を育てていきたいと思っています。